

- SP AF 90mm F/2.8 Di Macro 1:1 (モデル名 272E)
- SP AF 180mm F/3.5 Di LD [IF] Macro 1:1 (モデル名 B01)

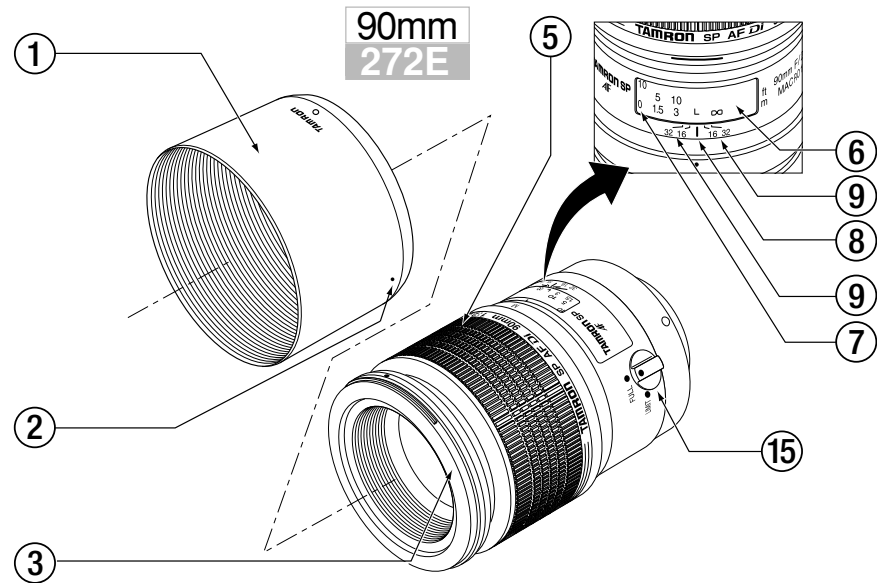
●本文中のマークについて

！ 不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。
 ！ 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

この度は、タムロンレンズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。本取扱説明書はモデル名272E(90mm)、B01(180mm)用、ニコン、キャノン、ソニー、ペンタックスマウント(272Eのみ)共用となっております。

ご使用になるレンズのモデル名とマウント名をご確認になり、該当する項目を特に注意してお読みください。また、このレンズを取りつけてご使用になるカメラの取扱説明書も併せてお読み下さい。お読みになった後は本取扱説明書を大切に保管して下さい。なお、本レンズをお使い頂く上での安全上の注意は、同梱されております用紙「タムロンレンズ安全上のご注意」に詳しく記載されておりますので、そちらも必ずお読み下さい。

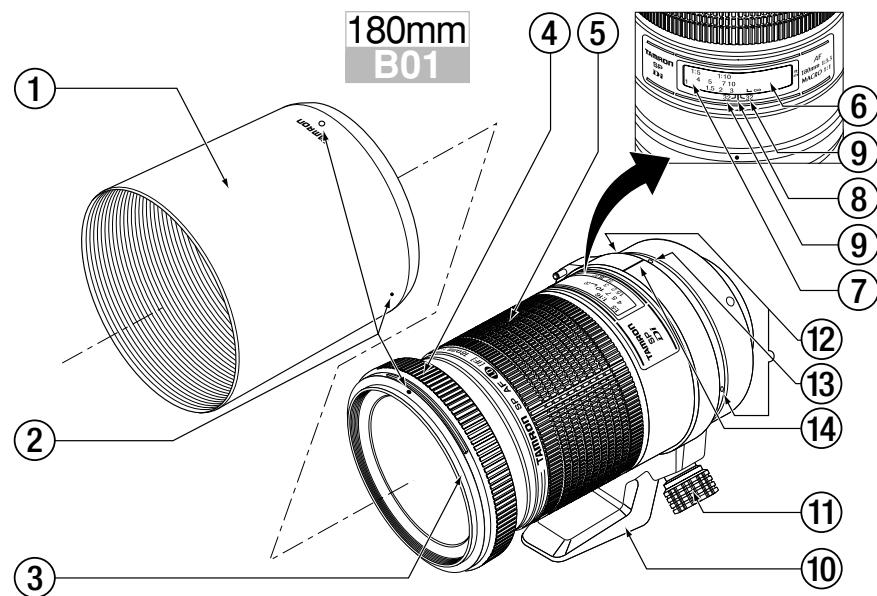
各部の名称



SP AF90mm F/2.8 Di Macro 1:1 (モデル名 272E)

焦点距離	90mm	最大撮影倍率	1:1
明るさ	F/2.8	フィルター径	55mm
画角	27°	全長	97mm
レンズ構成	9群10枚	最大径	71.5mm
最短撮影距離	0.29m	質量	400g

※このスペックはニコン用のものです。



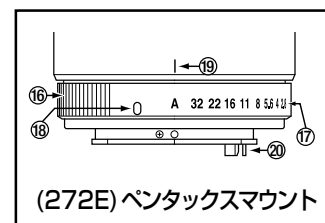
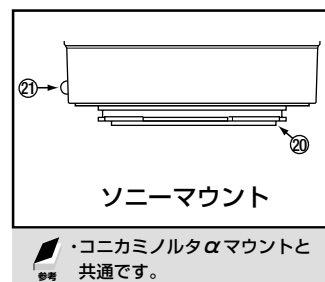
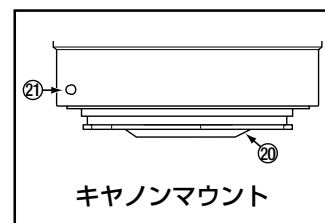
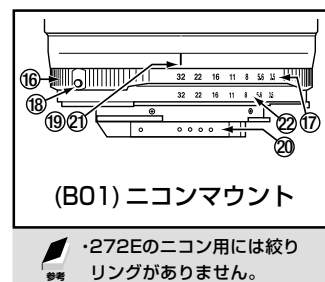
SP AF180mm F/3.5 Di LD [IF] Macro 1:1 (モデル名 B01)

焦点距離	180mm	最大撮影倍率	1:1
明るさ	F/3.5	フィルター径	72mm
画角	14°	全長	165.7mm
レンズ構成	11群14枚	最大径	84.8mm
最短撮影距離	0.47m	質量	920g

※このスペックはニコン用のものです。

- ① フード
- ② フード取付指標
- ③ フード/フィルター取付リング
- ④ フィルターエフェクトコントロール操作リング (B01のみ)
- ⑤ フォーカスリング
- ⑥ 距離/マクロ倍率目盛り表示窓
- ⑦ 距離/マクロ倍率目盛り
- ⑧ 距離/マクロ倍率目盛り指標
- ⑨ 被写界深度目盛り
- ⑩ 三脚座(B01のみ)
- ⑪ 三脚座固定ネジ(B01のみ)
- ⑫ 三脚座縦位置指標(B01のみ)
- ⑬ 三脚座横位置指標(B01のみ)
- ⑭ 三脚座指標(B01のみ)
- ⑮ フォーカスリミッターノブ(272Eのみ)
- ⑯ 絞りリング(B01ニコン、ペンタックス)
- ⑰ 絞り目盛り(B01ニコン、ペンタックス)
- ⑱ 最小絞りロックボタン(B01ニコン、ペンタックス)
- ⑲ 絞り指標(B01ニコン、ペンタックス)
- ⑲ レンズマウントおよびマウントコンタクト
- ⑲ レンズ取付指標
- ⑳ ファインダー内表示用絞り目盛り(ニコン)

マウント部



カメラへの装着

1. レンズの後キャップを外します。
 2. レンズ取り付け指標とカメラのマウント指標を合わせてはめ込みます。ニコン/ペンタックスのカメラは、レンズの絞り指標とカメラのマウント指標を合わせて取り付けます。
 3. レンズを時計回りに(ニコンの場合は反時計回り)カチリとロックがかかるまで回します。
 4. 取り外すときは、カメラのレンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを反時計回り(ニコンの場合は時計回り)に回して取り外します。
- ！ 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

レンズフードについて

バヨネット式レンズフードが標準装備されています。有害光線をカットするため、できるだけ装着して撮影されることをお勧めいたします。ただし、ご使用のカメラがストロボ内蔵の場合は裏面の「撮影時のご注意」をよくお読みください。

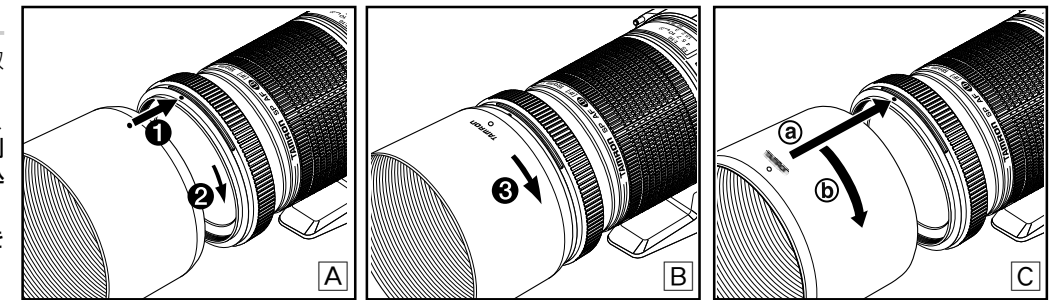
●取り付け方

1. フード側のフード指標点とレンズ側のフード取り付け指標点を合わせて、平らに押し込み、フードを時計回りに回します。(図 A-①、②)
2. 「TAMRON O」が真上に来るまでフードを回して、固定します。(図 B-③)

●収納時の取り付け方

収納時には、レンズフードを逆向きにして取り付けます。

1. フードの開いている方をレンズに向け、フード側の「TAMRON O」をレンズ側のフード取り付け指標に合わせてはめ込みます。(図 C-①)
2. フード指標点が真上に来るまでフードを回して、固定します。(図 C-②)



AF(オートフォーカス)/MF(マニュアルフォーカス)の切り替え方

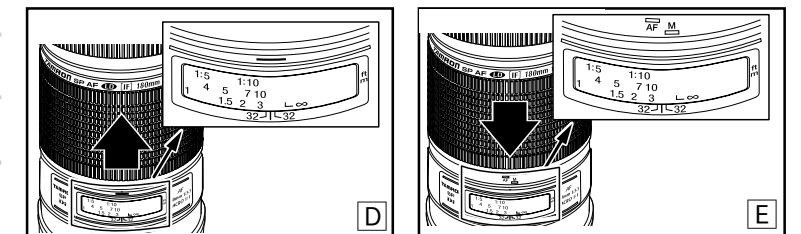
●ニコン、キャノンのカメラをお使いの場合

フォーカスリングを前後させて切り替えます。(図 D、E)

●ソニー、ペンタックス(272Eのみ)のカメラをお使いの場合

フォーカスリングを前後させ、さらにカメラ側の AF/MF 切り替えスイッチで切り替えます。(図 D、E)

AFとMFの操作方法については、下記の「ピント合わせAF」「ピント合わせMF」の項目をお読みください。また、カメラの取扱説明書の AF と MF の操作方法に関する項目も併せてお読みください。



ピント合わせ AF(オートフォーカス)

●ニコン、キャノンのカメラをお使いの場合

1. レンズのフォーカスリングを AF 側に切り替えます。(図 D)
2. ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。レンズが自動的に作動し、ピントを合わせます。
3. ファインダー内にピントの合ったことを知らせるマークが点灯します。
4. シャッターボタンを押して撮影します。

●ソニー、ペンタックスのカメラをお使いの場合

1. カメラを AF モードにセットし、レンズのフォーカスリングを AF 側に切り替えます。(図 D)
2. ファインダーをのぞきながらシャッターボタンを半押しします。レンズが自動的に作動し、ピントを合わせます。
3. ファインダー内にピントの合ったことを知らせるマークが点灯します。
4. シャッターボタンを押して撮影します。

！ ソニーとペンタックスのカメラをお使いの場合は、カメラが AF にセットされていることを確認してからフォーカスリングを回してください。このとき、フォーカスリングは手で無理に回さないでください。カメラ側を AF にしたままフォーカスリングを無理に回すと、カメラ内部の機構を破損させる恐れがあります。

！ 詳しくはご使用のカメラの取扱説明書をご覧ください。

ピント合わせ MF(マニュアルフォーカス)

●ニコン、キャノンのカメラをお使いの場合

1. レンズのフォーカスリングを MF 側に切り替えます。(図 E)
2. ファインダーをのぞきながらフォーカスリングを回してピントを合わせます。ファインダー像のハッキリ見える位置がピントの合った位置です。
3. シャッターボタンを押して撮影します。

●ソニー、ペンタックスのカメラをお使いの場合

1. カメラを MF モードにセットし、レンズのフォーカスリングを MF 側に切り替えます。(図 E)
2. ファインダーをのぞきながらフォーカスリングを回してピントを合わせます。ファインダー像のハッキリ見える位置がピントの合った位置です。
3. シャッターボタンを押して撮影します。

！ ソニーとペンタックスのカメラをお使いの場合は、カメラが MF にセットされていることを確認してから、フォーカスリングを回してください。カメラ側を AF にしたままフォーカスリングを手で無理に回すと、カメラ内部の機構を破損させる恐れがあります。

！ ニコン F501 をご使用の場合は、ソニーのカメラと同様に、カメラ側の AF/MF 切り替えと、フォーカスリングを前後にスライドする切り替え操作の両方を行って AF と MF を切り替えてください。

！ フォーカスリングが AF の切り替え位置にある場合、フォーカスリングが空回りしてマニュアルフォーカスができません。さまざまな状況下で良好なピントを確保できるよう、フォーカスリングは無限遠(∞)位置よりも余分に回転します。したがって、マニュアルフォーカス撮影では、無限遠位置にピントを合わせる時にも、必ずファインダーでピントを確認してから撮影してください。

！ シャッターボタンを半押ししながらフォーカスリングを回すと、ピントが合ったとき、カメラのフォーカスエイド機能により、ファインダー内の合焦ランプが点灯します。B01 はインターナルフォーカス方式を採用しているため、マクロ撮影時でも、レンズが繰り出される(前方へ長く伸びてゆく)ことはありません。そのため、ピント合わせにより重量バランスが大きく崩れてしまうことはありません。

！ 詳しくはご使用カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

